



2月25日 球磨川はね発掘調査現地見学会
八代を守ってきた“はね”見学



萩原地区堤防工事及び球磨川はね発掘調査見学会が行われ、市民ら約30人が参加しました。「球磨川はね」は河川の氾濫を防ぎ、護岸を守るための構造物です。坂川昌生さん(古城町)は「現物を見たことで、八代で昔どういう治水をしていたのかがよく分かりました」と話しました。

2月21日 市内小学校に台湾バナナの贈呈
台湾の食文化に触れる



学校法人神戸学園グループから市内全ての小学生に台湾屏東県産バナナが届けられました。これは同グループが、日本と台湾の友好関係の発展と子どもたちに台湾の食文化に触れてもらおうと行ったものです。松田紘さん(代陽小6年)は「色がきれいでとてもいい匂いです」と話しました。

2月11日～3月5日 城下町「やつしろ」のお雛祭り
たくさんの想いがつまったひな人形



今年で21回目となる祭りでは、松浜軒や本町・通町商店街などで古くから伝わるものや手作りのものなどさまざまなひな人形が展示されました。オープニングイベントでは、本町2丁目のイベント広場で餅投げが行われ、子どもからお年寄りまで多くの人々が訪れ、餅が投げられると大きな歓声が上がりました。

2月10～17日 こいこいフェスティバル
新庁舎開庁1周年記念並びに台車完成披露



市役所本庁開庁1周年を記念し、こいこいフェスティバルがこいこい広場で行われました。まちなか活性化協議会が中心市街地活性化に向けた事業の一環として開催したもので、ステージや屋台村などがあり、多くの人でにぎわいました。初日はセレモニーと市内の高校生が協力してラッピングした台車のお披露目もありました。

3月1日 “ヤツシロヤ”開店
八代市産品魅力発信プロジェクト



本市の特産品を商品開発・ブランド化し、都市部に販売する「ヤツシロヤ」の開店に合わせ、記者会見が市役所本庁で行われました。株式会社SUNABACOと株式会社SUPER MARKITが中心となり実施しているもので、新商品7種とお笑い芸人のパッファロー吾郎AさんがプロデュースしたTシャツが発表されました。

2月27日 八代市善行児童生徒表彰式
勇気ある行動をたたえる



人命救助や社会福祉活動、地域環境美化活動などを実践した6校14人の児童生徒が特別賞を受賞し、表彰式が行われました。八代市善行児童生徒表彰委員会の沖田龍蔵会長は「皆さんの行動は勇気あるものであり、皆さんは八代の宝です」と話しました。

2月15～17日 友好交流都市台湾・基隆市を訪問
台湾・基隆市とのより深い友好関係のために



中村市長が本市の友好交流都市である台湾・基隆市の謝國樑市長を訪問しました。今年4月に友好交流締結5周年を迎えることから、両市の友好関係をより一層深めることを確認しました。また、基隆港務支社を訪問し、人流・物流双方で港を通じた両市の関係性強化についても意見交換を行いました。

2月13日 企業立地に向けた覚書調印式
県産・国産木材の需要拡大と安定供給



玉名製材株式会社(玉名郡和水町)、中国木材株式会社(広島県呉市)と本市が企業立地に向けた覚書を締結し、市役所本庁で調印式が行われました。中国木材株式会社の石橋正浩取締役生産本部長は「木材産業を熊本の地域産業として発展させて、県産木材の良さを世界に知ってほしい」と話しました。

みんなの写真館 今月号のテーマは「ひな祭り」です。



三姉妹の雛祭り。
撮影場所：自宅
ペンネーム：三姉妹の母



じつとなんてしてられないわ
撮影場所：子育て支援センター
ペンネーム：ゆるゆる



犬だって女のコ☆ひな祭り散策
撮影場所：日奈久
ペンネーム：ラピママ

広報やつしろは5月号でリニューアルを行います。これに伴い、「みんなの写真館」のコーナーは当月号をもって終了します。これまでたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

3月3～5日 八代の自然と歴史を巡る
第28回九州国際スリーデーマーチ2023

4年ぶりに八代地域一円で開催され、国内外からウォーカー延べ約8000人が参加しました。今回初登場の「くまモンポート八代コース」やお祭りなどでん館などを巡る「城下町散策コース」など3日間で11コースが用意されており、毎日違ったコースを楽しむことができます。岐阜県から参加した田中雄一さん典子さん夫婦は「初めて参加しましたが、いろいろな人から手を振って声をかけてもらいとても楽しかったです」と話しました。

